



学校だより

令和元年11月29日 発行

12月 第351号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/index.html>

思いのカタチに触れてみて…

副校長 堀江 公子

新元号「令和」がスタートして7か月余り、早くもあと1か月で今年が終わろうとしています。

本校では、11月もたくさんの行事がありました。全校遠足、区の音楽会、日光宿泊体験学習、地域清掃など、学年の仲間や異学年の友達と日頃の学習活動では得られない様々な経験を積み、子どもたちはまた一つ成長したことと思います。

子どもたちの成長も嬉しいですが、行事のたびに地域の方から温かい励ましのお言葉やお手紙をいただくことも嬉しいことの一つです。運動会では、「一人ひとりの児童がカー杯、思う存分実力を発揮していました。…真摯な姿勢の保護者の皆様、それぞれの場面で児童の動きをサポートしている職員の様子を近くで拝見しました。感動とありがたい言葉がいつまでも脳裏から離れず帰路につきました。」みんなの音楽祭は、「体育館の広さや音響効果の環境をはるかに上回る演奏を楽しそうに行う児童の姿に、日頃からの指導が行き届いていることがよくわかりました。」

また、地域清掃では、保護者の方をはじめ、地域の方々もたくさん参加してくださり、子どもたちの励みとなりました。ありがとうございます。さらに、清掃が終わるとすぐに地域の方が「ありがとう。」と、児童の活動の様子を写真に撮って届けてくださいました。さらに行事だけではなく、地域の方から児童が図工の時間に使う木材も提供していただき、よりよい学習環境づくりにご協力いただいています。

六つ川西小学校に着任して8か月、私は、保護者の方々や地域の皆様をはじめとするたくさんの温かい思いに触れることができました。そのたびに、子どもたちを中心に、保護者、地域の皆様とのつながりを感じずにはられません。上記のように、児童の姿や自分たちの行いに様々な形で返してくださることが、私たちの励みになり自信にもなります。本当にありがとうございます。今後も皆様とのつながりを大切に、子

どもたちのために、職員一人ひとりが精一杯取り組んでいきたいと思っています。

さて、今月10日は「人権デー」です。そして、12月4日から12月10日を最終日とする1週間を人権週間と定め、全国的に啓発活動が行われています。本校でも全校児童を対象に「人権教室」があります。六つ川西小での温かい思いに触れ、皆様とのつながりを感じるなかで、以前流れていたCMの言葉を思い出しました。

「こころ」はだれにも見えないけれど

「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど

「思いやり」はだれにでも見える

その気持ちをカタチに

これは詩人、宮澤章二さんの「行為の意味」という詩からの引用だそうです。私たち一人ひとりの心の中には、温かい純粋な思いがありますが、それはいつも見えているものではありません。しかし、ちょっとした声かけで心遣いが見えたり思いやりが伝わったりします。言葉をかけるのが苦手な人は、微笑みかける、そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる…そんな小さな行為も温かい心遣いが伝わる姿です。心は見えないけれど、それを伝える手段はいろいろありそうです。これからも、子どもたち一人ひとりが安心して思いを表現して伝え、またそれを感じ合いながらつながっていく学校づくりに努めていきたいと思っています。そして、自分自身がそんな六つ西の一員でありたいと願っています。

本年も保護者、地域の皆様には、六つ川西小学校のためにお力添えをいただきありがとうございます。令和2年も引き続きご理解ご協力をお願いするとともに、皆様にとってよい年になりますよう、お祈り申し上げます。